



皇女の執事は

悪魔憑き

この国ブルターニュ帝国には
とある伝説がある。



嘘か誠か、満月の夜に悪魔が
下界に降り、人間に取り憑く。

その悪魔は欲望のままに
暴れ回り、一夜のうちに数々の国を
滅ぼしたという……





ふん!!こんな伝説下らない!!
哀れな庶民の迷信でしょ

私はこの国
ブルターニュ帝国の第一皇女
アン・リ・ブルターニュ

容姿端麗、眉目秀麗!!
国民たちは私にメロメロ
まさにこの国の皇女に
ふさわしいのが私なのよ!!
オーホッホッホ!!



いっハ

うるさいわね!



お嬢様、口が悪うございます。
直されたほうがよいかと

そしてこの生意気な男は
この城の執事の一人
ルイス・カンサレン



あんなこそ、その口うるさい
お節介な性格直したほうがいいわよ!



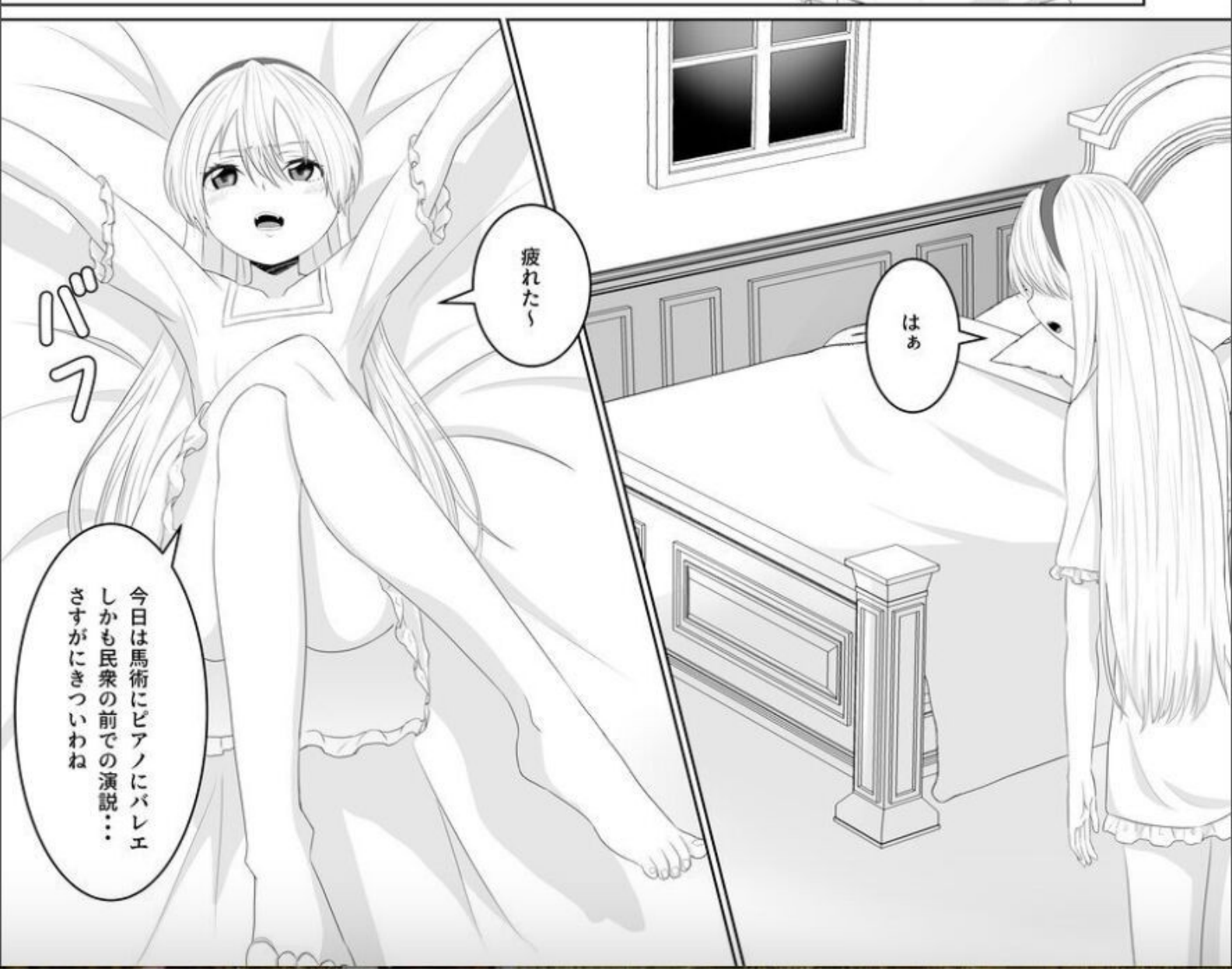
本当に
無事でよかった...

世話好きでお節介な過保護な奴
まあ悪い奴ではないけどね...











ぶっ
なにその顔の模様！
ださーっ！

その口調といいルイスあんた
なんか演劇でもやるつもりなの？
それとも中二病的なにか？

これが一国の皇女か…

大層下品なやつだ

そういうのは子供の時に
終わらせときなさい

ふ
今になってこじらせてるのは
相当きついわよ

うーんそうだな…

あ、あくま！？
ほんとに言ってるの？

ああ、もちろんだ

こっちの世界の言葉を借りるとしたら
“悪魔”ってところかな

今日は満月の夜…
まさかあの伝説が…

あなたルイスじゃないわね
一体誰？

！

信じられない…あれはただの伝説…
迷信だと思っていたのに…

しかし数千年ぶりに
降りてきたが随分変わったものだ

昔は小さな国が数個あった程度で
ここまで大国はなかった

もし本当なら
このブルターニュ帝国が…
私の国が…

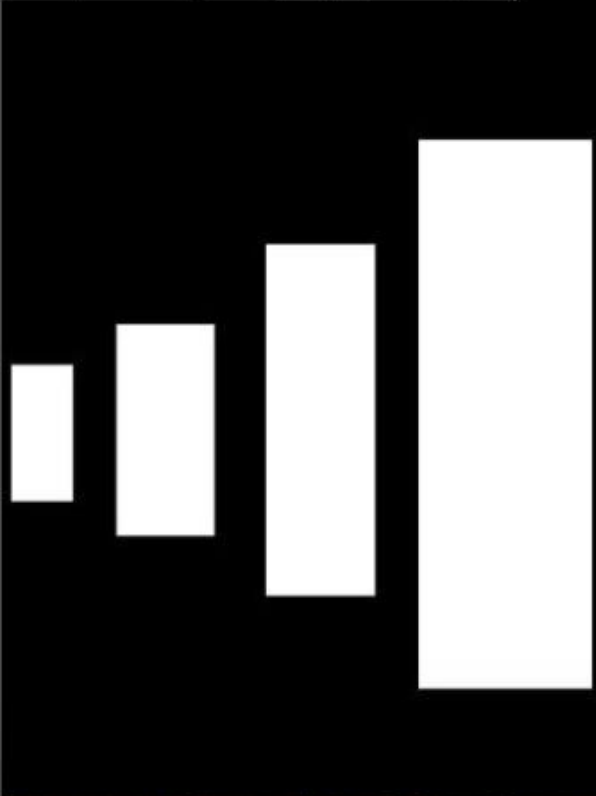
その国も俺が
滅ぼしたんだがな…

まあ安心しろ
今日はそんなことをしに
来たわけではない

退屈だったんで
ちょっと遊びに来ただけさ

やっぱり…

ひっ…





なにこれ!?

う、うそっ!? 手足に枷が…
これじゃ動けない…!!

おっと





お嬢様



フウ

おはようございます



誰か助けて〜!!



うっ…これが悪魔…

ここがお城なら
近くに誰かはいるはず
助けを呼ばなきゃ…!!

この状況はまずい…

シーン...

ハハハハッ

フッ

それにここは
今は一切使われていない
城の地下倉庫

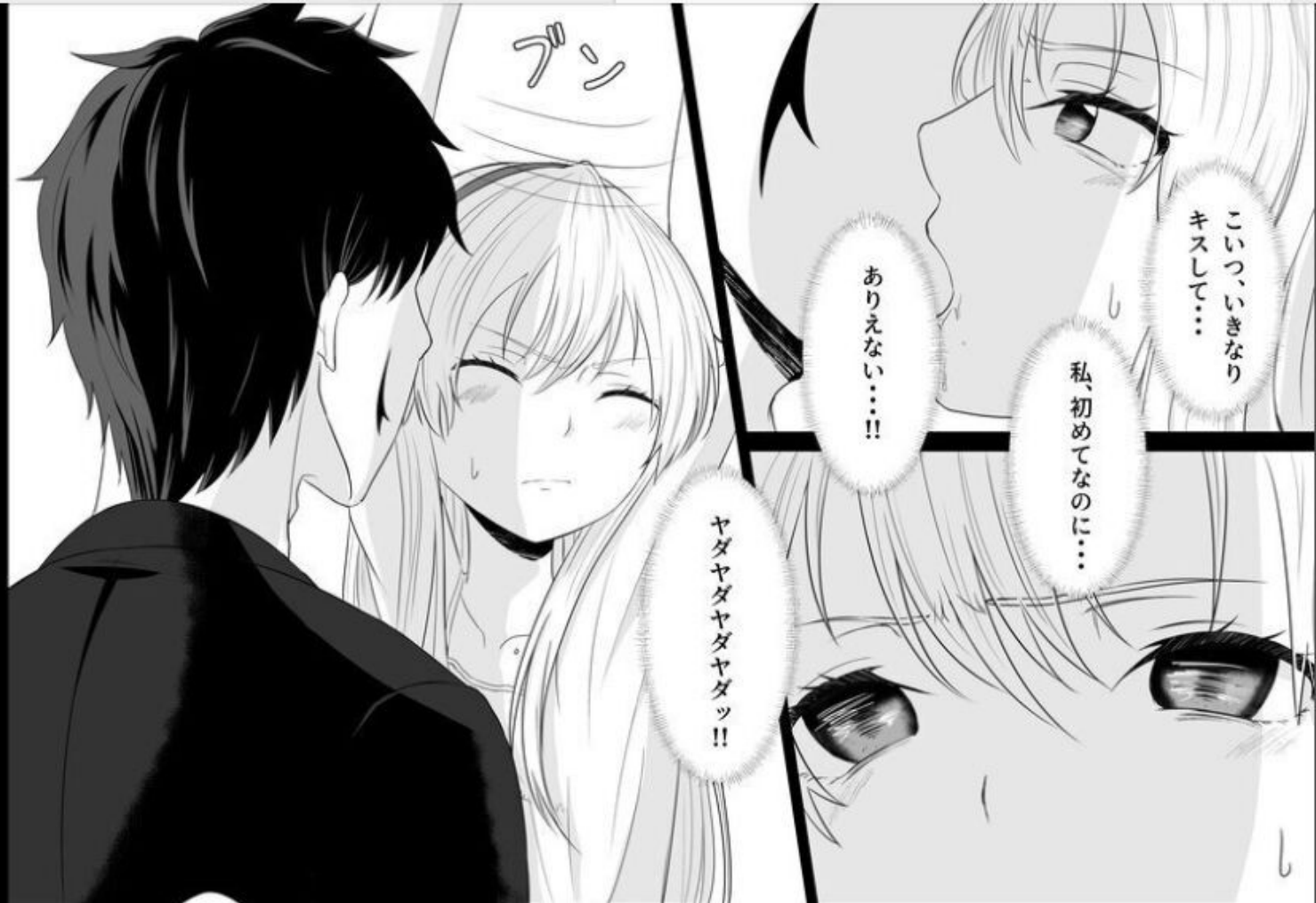
な、なにがおかしいのよ……!

依り代の記憶をたどって来たが
うってつけの場所だ……

だから中の音は外には
一切聴こえないようになっている

そんなことをしても無駄だ
俺の力でこの部屋には結界を張った







ふふ、どうなってもか
ただの小娘のお前ごときに何ができる？

惨めだなあ、皇女様が…
こんな姿この国の民衆が見たら失望するだろうなあ
その惨めな姿が最高にそそる

悪趣味なやつね…

あんななんか
地獄にでも落ちればいいわ



!?

ふ、いつまでも
やかましい口だな



えっ…

しかも今度は舌入れて…

んっ…
こいつまた…!!

















ふっ、どうやらお嬢様は
性に疎いようだな

教えてやろう
これは快感を感じた時に
出る「愛液」だ

パンツの上からでも分かる凄まじい愛液の量…
普通はこんな量ありえないんだがな
とんでもない淫乱女でもない限りは…なあ？

あい…えき…

うそ…私がこんな奴に
胸を触られて快感を感じているの？
ありえない…絶対にありえない…!!

もうパンツに愛液が染みて
びしょびしょだな

こんなに汚して
手間のかかるお嬢様だ
仕方がない脱がせてやろう…!!

きゃっ!!

もっともここはクリトリスと言ってな
女性器の中で特に快感を感じやすい場所だ

うっ、き、気持ちいいわけないでしょ…

やつ、うっ…あっ…

どうだ、直に性器を触られてる気分は
ぬるぬるして気持ちいいだろう？
気持ちよくて仕方がないだろう？





えっ……



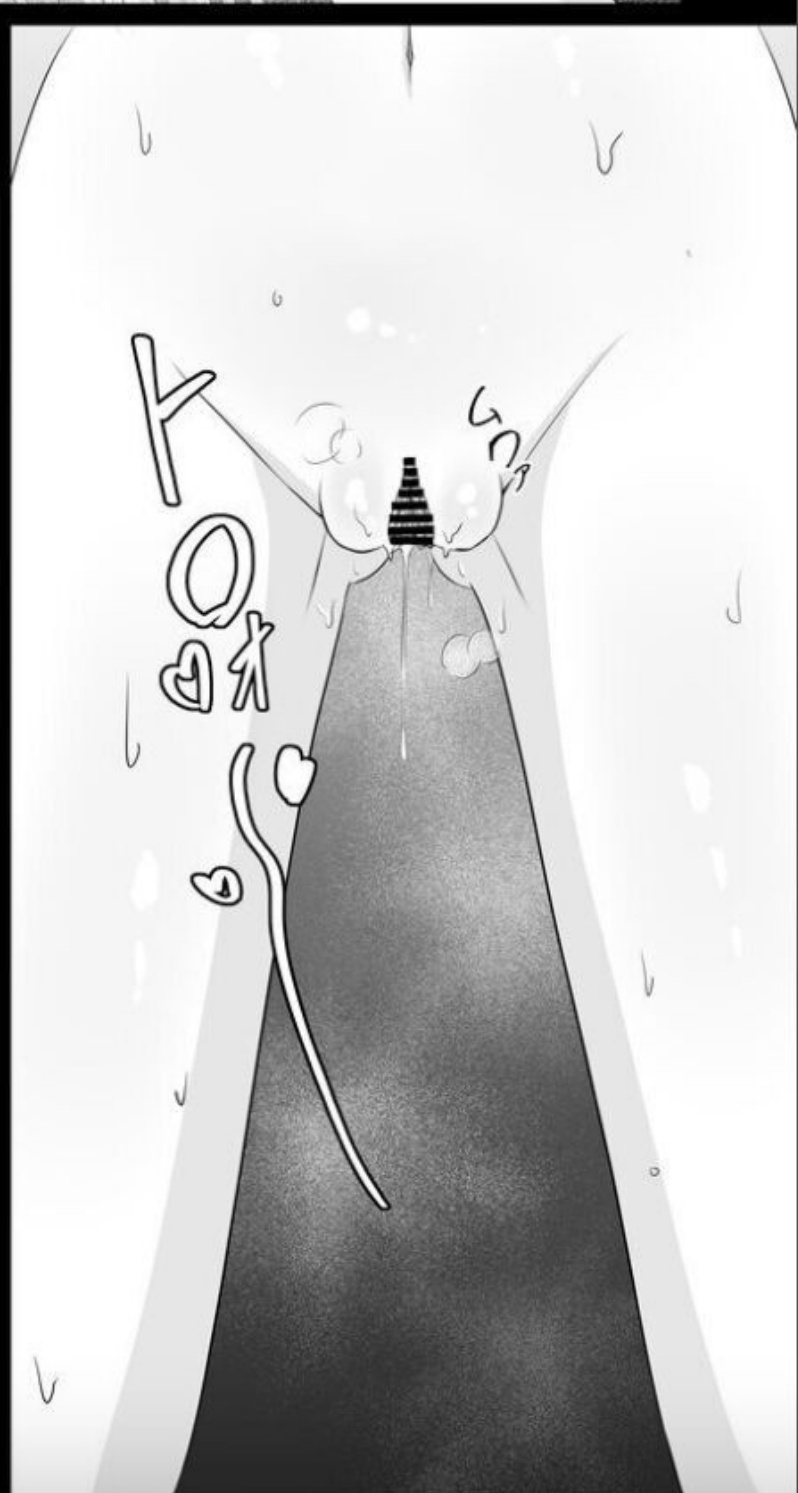
は、はあ？ そんなわけないでしょ……!!
いいから早くこんなこと辞めなさい!!

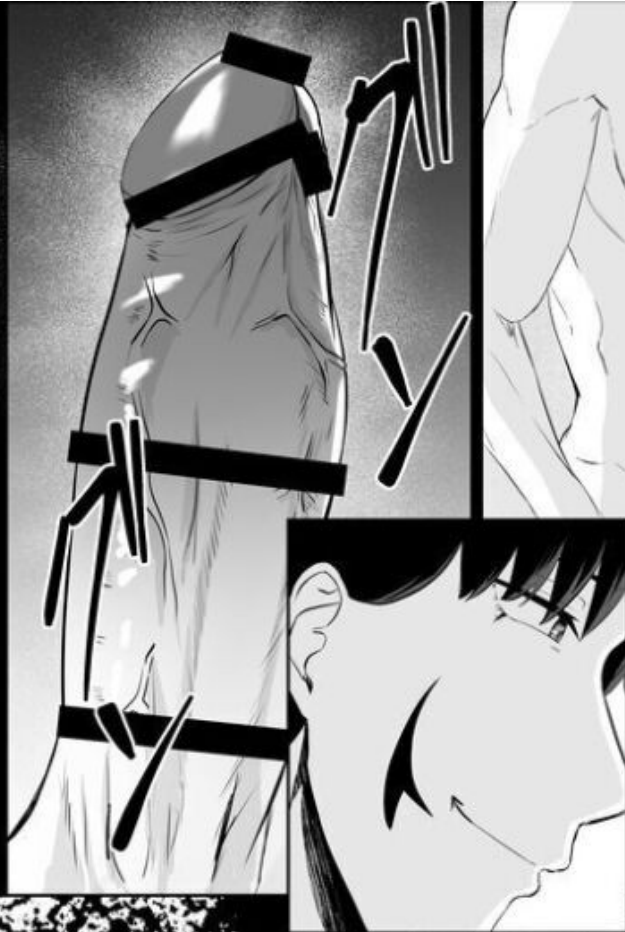
全く……素直じゃないなあお嬢様は

さゆ……

おや、どうした？
なんで触ってくれないのって
顔をしているな

まあ慌てるな
貴様には最高の快楽を
味わせてやろう







ふっふっ!!

バ

ジュ

グ



いっついやあああ!!

痛い痛い!!

やめてっ!! 抜いてっ!!



素晴らしい締めりだ...!!

誰のちんぽも
受け入れたことのない
初心な膣...!!

俺の形に拡がっていく...!!

ハハハッ!! 最高だ!!



なんという快感だ…!!

痛い痛い…

こいつの大きすぎる…

たまらん!!
これは素晴らしい名器だ…!!

搾り取られるようだ!!

内臓がえぐり取られてるみたい…

死んじゃう…
このままじゃ死んじゃう…!!



何でもします…
お金も土地も食料でも
なんでも差し上げます…

悪魔様…お願いします…
や、やめてください…

だからどうか…

ほう、ここにきて泣きついてきたか
だが今更そんなことをしても遅い

俺は悪魔だ、貴様の願いを
聞き入れると思うか？
それにそんなものは
奪って手に入れるさ



いい顔だ…

だがそんな顔もしてられないくらい
ぐちゃぐちゃにしてやろう





最初は痛かったはずなのに
さっきのこの感覚は何…!!

脳がふわつとする感覚…

こんなのずっと
され続けたらヤバイ!!

ダメ…来る…!!

何か来ちゃう…!!







でもダメ…
さっきので身体中がしびれて

動けない…

今なら逃げ出せる…

あれ、腕の拘束が取れた…

シュウッ



ハア

ハア



え、今度は何…!?

貴様の愛液でベトベトに汚れてしまった
きれいにしてみようとするかな





な、なにこれ...
苦しい...

グウツ!!

...こいつ、一国の皇女を
なんだと思ってるの...!!

喉にガンガン当たってる...

大きすぎる...
口の中パンパンになって
息ができない...

苦しい...

やだやだやだやだッ...!!

苦しい...

もっとだ、もっと!!
もっと見せてくれ!!

その苦しそうな表情...
最高だ!!



なに言ってるのこいつ…
頭おかしいわ…!!

絶対に…絶対に…
許さないんだか…



んぐうッッ!!

らっ!!



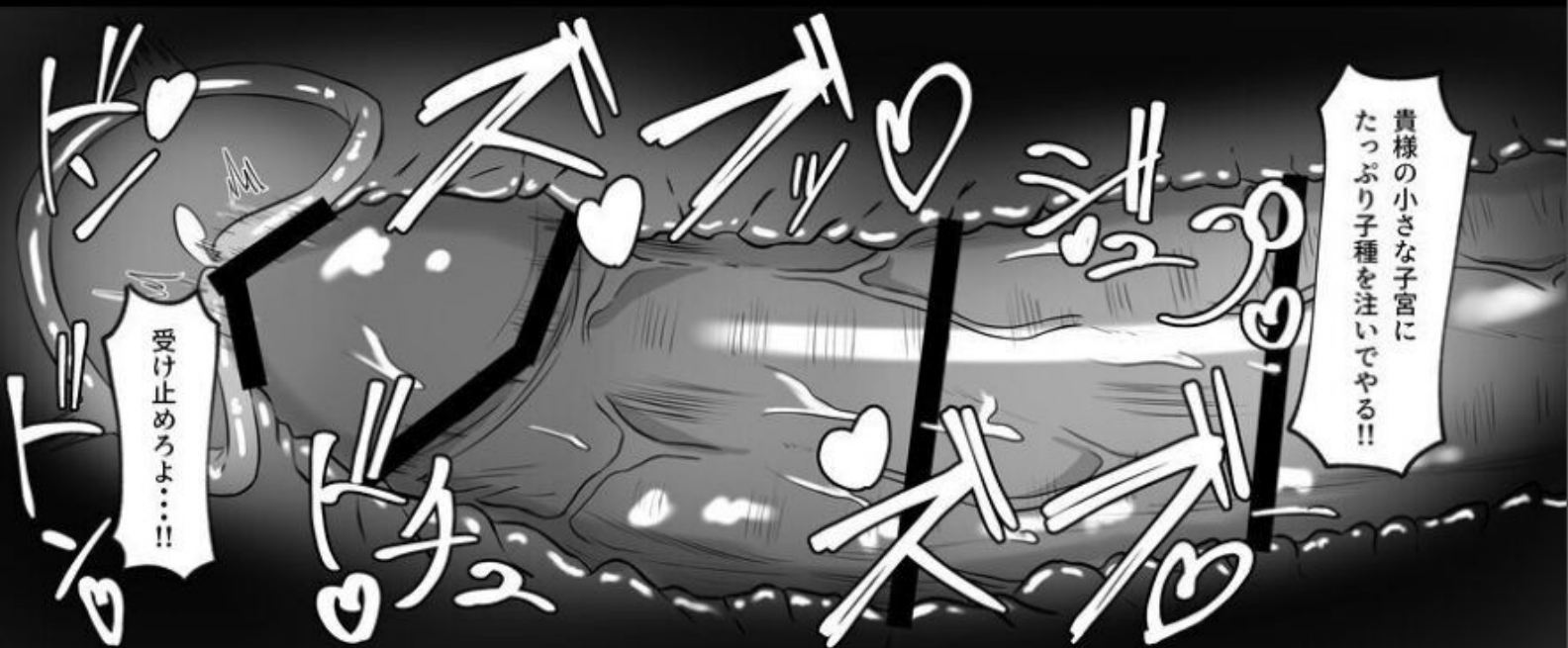








出すぞ、出すぞ…!!



貴様の小さな子宮に
たっぷり子種を注いでやる!!

受け止めろよ…!!



え、なにになに…!!?
何を出すの…?

私このままじゃ…
また…イクッ!!



それからの記憶は
曖昧だった…

その後、私は性欲を発散するための
ただの人形のように使われた…

まさに悪魔そのものだった

でも不思議と私は恐怖を
感じていなかった…





“気持ちいい”
ただその感覚だけが
頭に残っていた…

ドンッ

チュッ



私の心と身体はどんどん
悪魔に堕とされていった…

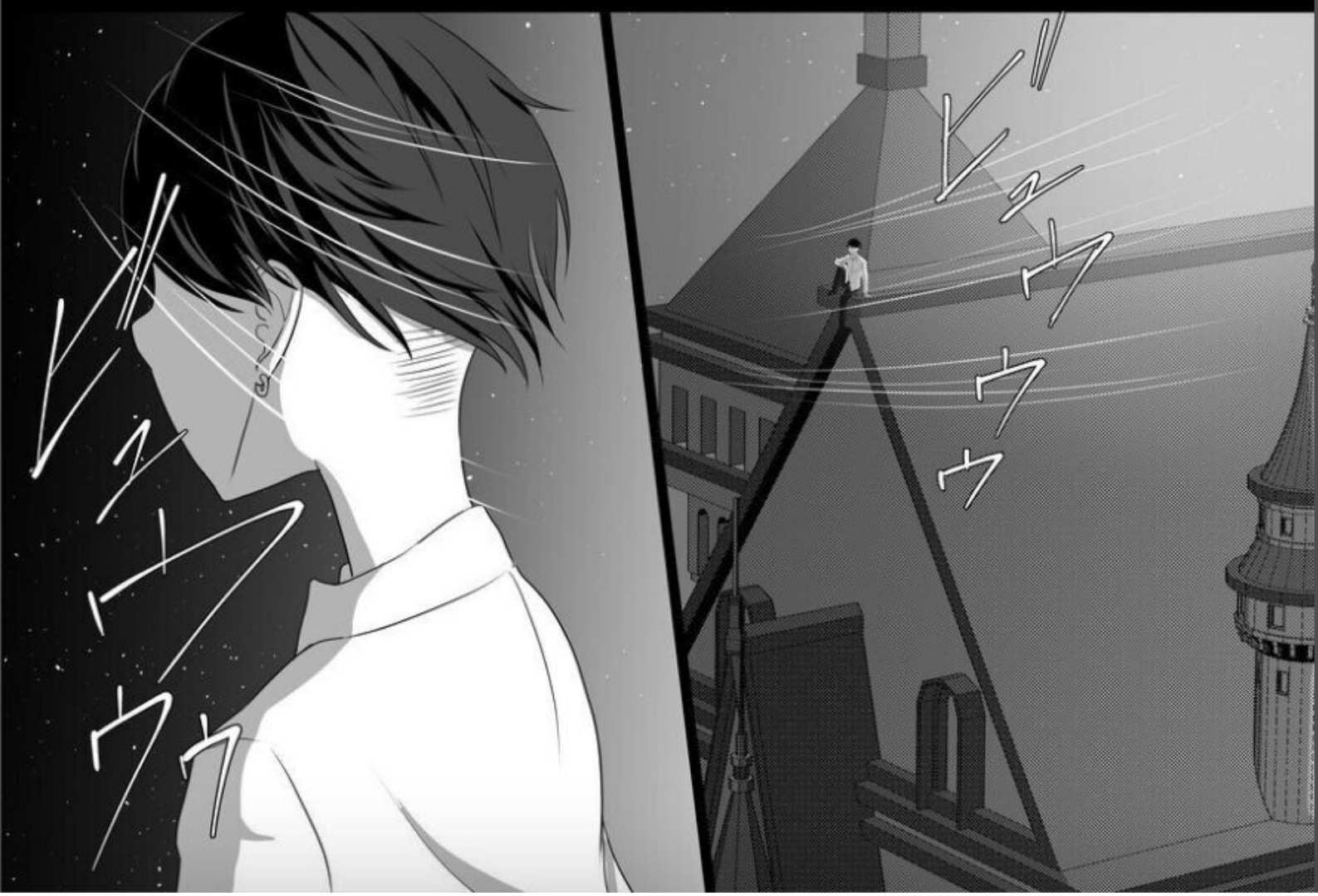




リバル
君も来たんだね

随分楽しんでる
みたいじゃないか

だけど
君の好きには
させないよ



面白くなりそうだな♪

To Be Continued...

お買い上げ
ありがとうございました!



作者：なすび
サークル：八百屋

悪魔憑き

皇女の執事は